

[閉じる](#)

現代英米文学特殊講義Ⅱ A

サブタイトル	ロマン主義の諸相
担当者名	大石 和欣
単位	2
年度・学期	2021 秋
曜日時限	月2
キャンパス	三田
教室	101
登録番号	34188
設置学部・研究科	前期博士課程（修士課程）文学研究科
設置学科・専攻	英米文学専攻
学年	1, 2
分野	修士課程科目文学研究科科目

授業科目の内容・目的・方法・到達目標

授業の内容と目的

「ロマン主義」（Romanticism）は一元的な定義を拒絶するきわめて多面的な文学範疇であり、また文化現象でもあります。国や地域によってもロマン主義が台頭した時代や状況は微妙に異なります。この授業では、多様性に富んだロマン主義文学の面白さと深さを、とくにイギリス文学に焦点を当てながら、ヨーロッパ全体へと目配りしながら学んでいきます。

一口に「ロマン主義」と言っても、その定義は研究者の間でも長い間論争が続けられているきわめて流動的なものです。イギリスの自然詩人ワーズワスと風刺好きなバイロンとは大きな違いがありますし、ドイツのゲーテやシラー、フランスのユーゴーなどを比べてみても、作品テーマや作風はまったく違います。絵画や音楽においても多様な表現や形式が見られます。

この授業では、Michael Ferber, *Romanticism: A Very Short Introduction*を主なテキストとし、それを精読しながらも、関連するさまざまな作品の中から、一般的に「ロマン主義的」と考えられている要素を抽出しながら、その時代背景を言葉の裏側に探っていきます。

ロマン主義文学という人間の言語活動が、どのような社会や文化、あるいは風土の中で生み出されてきたのでしょうか。また、そこにはどのような人々の生き様と哲学が埋め込まれているのでしょうか。

また、現在に行ける私たちはそれをどのように解釈できるのでしょうか。脱構築主義、新歴史主義、新マルクス主義、エコ・クリティシズム、そしてポスト・コロニアリズム批評など80年代以降の文学批評理論はまさきにロマン主義を分析対象として、大きな批評的業績をつみあげてきました。これからどのようなかたちで文学を批評していく可能性が残っているのでしょうか。

大きな政治的・社会的変動や価値観の変化の中から興隆するロマン主義文学を読むことは、変化と多様性に満ちた現代に生きる私たちにとっても意味のある知的行為でしょう。ロマン主義文学の読解を通して、文学解釈の基本についても、身につけていくことも目的にしたいと思います。

授業方法

Michael Ferberの*Romanticism: A Very Short Introduction*をメインのテキストに据えて、毎回4～5ページ程度読み進めていきます。

毎回、Ferberのテキストに掲載されている文学作品からの抜粋も配布し、それについての具体的な分析も授業内で行っていきます。

毎回、該当箇所については担当を割り振り、担当者が内容について詳細な分析や解釈、関係する事項などを発表していただきます。授業では発表をベースにしながら、理解を深めていきます。

授業の計画

第1回

Chapter 4, pp. 63-66. キリスト教とロマン主義

第2回

Chapter 4, pp. 66-70. 自然崇拜と環境論

第3回

Chapter 4, pp. 70-76. 崇高の美学

第4回

Chapter 4, pp. 76-81. 審美主義の源流

第5回

Chapter 4, pp. 81-87. 観念論

第6回

Chapter 4, pp. 87-92. 汎神論と科学

第7回

Chapter 5, pp. 93-98. フランス革命

第8回

Chapter 5, pp. 98-101. 産業革命とコミュニティの変容

第9回

Chapter 5, pp. 101-107. ナショナリズムの台頭

第10回

Chapter 5, pp. 107-111. 戦争と女性たち

第11回

Chapter 5, pp. 111-117. 異国趣味

第12回

Chapter 5, pp. 117-120. オリエンタリズム

第13回

Chapter 6, pp. 121-124. 芸術としてのロマン主義

その他

Chapter 6, pp. 124-131. 形式と音楽

成績評価方法

出席態度50%、発表20%、レポート30%（欠席は一回につき5点減点）

テキスト（教科書）

Michael Ferber, *Romanticism: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 2010, ISBN 978-0-19-956891-8

参考書

授業中に参考文献を提示する。以下のウェブサイトは自習用に使ってください。

<https://info.ouj.ac.jp/~gaikokugo/romanticism/index.html>

担当教員から履修者へのコメント

対面授業とオンライン授業を組み合わせた形で実施します。最初の授業は出席してください。出席希望者はkazoishi@keio.jpにご連絡ください。資料などお送りします。